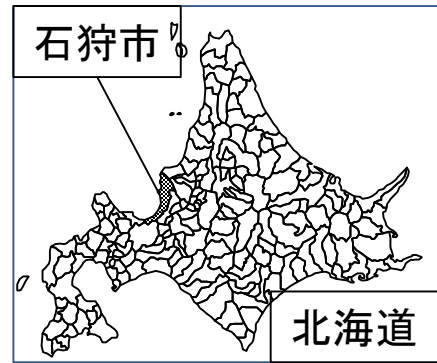


地域の広域化による共同取組活動の躍進

(北海道石狩市 浜益中山間地域等直接支払運営協議会協定)



- 浜益地区の5集落が連携した広域集落協定による農業機械の共同利用や共同取組活動による農業生産活動や農産物の加工・直売、農村交流活動を展開し、地域の活性化に取り組む。

面積：247.59ha（田、畑） 交付金額：1,995万円（個人配分70%、共同取組活動30%）
協定参加者：農業者 56人、農事組合法人 百笑一喜 協定開始：平成12年

地域の現状

- 本地区は、北海道石狩市北部に位置しており、全域で傾斜地が多く、水稻を主体とした果樹や和牛生産など多様な経営を行っている。
- 高齢化による担い手不足、集落活動の減少で農地の維持・管理が困難になることを懸念。
- 幌、川下、柏木、実田、御料地の5集落と連携し広域の協定を締結。平成12年度から本制度を実施し、本地区で生産している「浜益米」のブランド強化や観光農園によるグリーンツーリズムなど農業生産活動を継続実施する体制づくりに努めている。



【集落協定の総会】



【共同作業(稲わら回収)】

取組の概要

- 本制度を活用し、平成14年度からトラクター、畦塗り機械等を導入し、水田からの稲わら回収や畦の補強など農作業の共同利用化の推進に取組み、それを契機として地域に農地所有適格法人が設立するなど将来に渡り農地を維持する体制を確立。（協定面積：H27 241.1ha→H28 247.59ha）
- 米、とうきび、キャベツなど市内の農産物直売所で店頭販売し、地元の農産物のPR活動を実施。また、水稻は、「浜益米」として生産し、インターネットを活用した直売やふるさと納税の返礼品にするなどブランド化に向けた取組みを行っており、高付加価値化による農業所得の向上を目指す。
- JA婦人部や各自治会婦人部等と連携し花壇など景観作物の移植や海浜美化事業等を実施することで地域の農村景観を保全しグリーンツーリズムの推進に寄与。



【中学校の花壇に花を移植】



【浜益産米】